

第3章

学校教育ビジョンの 推進に向けて

総合的かつ計画的な推進のために

1. 関係者の役割分担と連携協力

台東区のまちの多様な主体が教育に参画し、区民の総力を結集することにより、子どもたちの輝く未来を創造していく「台東区学校教育ビジョン」の基本理念を推進するためには、学校園、家庭、地域、教育行政が、子どもたちの成長に関わる当事者としての役割を理解、認識するとともに、その目指すべき方向性を共有し、相互に緊密に協働・連携して取り組むことが大切です。

(1) 学校園の役割 —信頼される教育の実現—

学校園は、子どもたちが高いところざしをもち、主体的に、輝く未来を切り拓いていくための力や、豊かな人間関係を築き、変化の激しい社会を生き抜いていく力を身に付けていく場所です。子どもたちが安心して学習できる環境を確保することや教員・保育士の指導力を高めていくことなどがきわめて重要です。

すべての教員・保育士が、子どもたちの輝く未来づくりに立ち会うという、責任とやりがいのある職業に携わる者としての気概を胸に、子どもたちを信じ、子どもたちの大なる可能性を引き出していくことに全力を傾注していきます。

また、学校園は、教育活動の成果などに関する情報を積極的に公開し、保護者や地域の住民の意見や要望を幅広く取り入れ、開かれた学校園経営を進めます。保護者だけでなく、地域社会も含めた幅広い連携と協力の体制を築いていく中で、多様な主体の教育活動や学校教育への参画を進め、信頼される学校園づくりを実現していきます。

(2) 家庭の役割 —教育の原点としての役割の実践—

家庭は教育の原点であり、保護者は、教育についての第一義的な責任を有しています。家庭教育は子どもたちが豊かな情操や基本的な生活習慣、人への思いやり、規範意識や社会貢献、自立心などを身に付けていく上で重要な役割を果たすものです。

学校園の行う教育活動の中には、家庭と連携することによりその効果が大きく高まるものが少なくありません。家庭が、学校園との連携を意識し、積極的に協働していくことが一層重要です。

保護者には、「台東区学校教育ビジョン」における学校園の教育を推進していくにあたり、地域や学校園との結び付きを強めていきながら、地域や学校園の支えのもとに、子どもたちに幼少時からさまざまな体験を積み重ね、自ら子どもの手本となって行動し、子どもたちの心身の調和のとれた発達を図っていく役割を期待します。

(3) 地域の役割・地域への期待 —地域ぐるみの教育参画と学校園支援—

地域は、多様な人との関わりの中で、子どもたちが社会性や豊かな感性を身につけ、成長する場として重要な役割を担っています。

今後、子育てに不安を抱える家庭が増える中で、地域による学校園支援、子育て支援の取組みを一層進め、地域住民同士が活発に交流し、さらに地域の絆を深めていくという循環につながっていくことを目指します。

企業には、従業員の子育てや家族の絆を深めることを支援する職場環境づくりに努め、次代を担う人材の育成に積極的な役割を果たすこと、学校園や地域で行われるさまざまな教育活動に対する協力、職場体験の受け入れ、文化芸術活動への協力など、その専門性を生かし、地域の一員として、教育活動への積極的な参画を期待します。

大学等の高等教育機関には、学校園との連携を図り、蓄積された教育資源を地域の子どもたちや学校園に積極的に還元することや、将来へのこころざしを育むための交流活動など、様々な役割を期待していきます。

(4) 教育行政の役割 —充実した教育環境の実現—

教育行政を担う教育委員会には、子どもたちの学びの充実に向け、充実した教育環境を実現することが求められています。子どもたちに直接的に関わる学校園現場を支えるという視点に立ち、それぞれの学校園が今何を必要としているのかを十分に把握したうえで、専門的な支援をはじめ、先進的な取組みや事例の把握や育成、安全・安心な学校づくり、教員・保育士の資質の向上、教員・保育士が子どもと向き合える時間の確保といった多様な教育的支援を推進していきます。